

平成19年度 高津こども文化センターの管理運営に対する評価について

1 指定管理者

(1) 指定管理者	財団法人かわさき市民活動センター
(2) 指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日
(3) 業務の範囲	高津こども文化センターの管理運営に関すること 高津小学校・下作延小学校わくわくプラザの管理運営に関すること

2 管理運営（事業執行）に対する評価

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導
(1) 管理業務の実施状況		
施設の運営に関する職員体制に関すること	①人的能力の充実を図るため職員の児童厚生員資格取得を進めると共に、新規採用職員は業務に関する資格取得者から選考しました。②本部の職員体制については管理係長1名、区運営担当主査を3名配置して各館との連携強化を図りました。	職員の業務に関する資格の取得を進めたこと、また本部職員の充実によりかわさき市民活動センターが管理運営している他のこども文化センターとの連携を図ったことは評価できる。職員の研修については、スケールメリットを生かし、大規模な研修を実施し、また、指定管理施設の各区、施設単位での研修も実施することにより職員のスキルアップを図っていたことは評価できる。今後もこども文化センター及びわくわくプラザの職員配置が適切に行われるよう努めること。
施設の管理運営に対するニーズ等の把握に関すること	施設の管理運営に対するニーズに関しては定例の運営協議会を中心に、運営協議会主催のこども文化センターまつり協力団体（高津小学校、下作延小学校、西高津中学校のPTA、町会、青少年団体等、乳幼児サークル）等よりニーズ把握をすると共に、館においては、利用者団体からのニーズの把握、わくわくプラザにおいては、懇談会、子ども会議、アンケートや意見箱によるニーズの把握を行い、事業を実施しました。	継続的に利用者や地域住民からの意見・要望等を聞きニーズの把握に努めていたことは評価できる。アンケートや意見箱の活用等により積極的にニーズの把握に努めていたことは評価できる。
サービスの提供に関すること	子ども運営会議の実施により、子ども達の声から出た行事を子ども達と一諸に楽しく行い、他館との合同行事や夏の高津区合同サマーキャンプ、全市大会の参加など活力溢れるこども文化センターの運営を行いました。また、わくわくプラザでは 定期的な懇談会やアンケートに基づいた全員参加できる行事づくり、安全で楽しいわくわくプラザづくり、運営協議会、市民の方々の意見を活かしたサービスの提供を行いました。	運営協議会や子ども会議等を実施しサービスの提供を行っていた。また、ホームページの内容をより充実させていたことは評価できる。障害児については、障害児相談員を雇用し、必要に応じ職員の相談を行い障害児の対応を充実させていたことは評価できる。

事業の実施に関する こと	健全育成事業として、一般行事、子育て支援、中高生の居場所づくり、市民の方々の拠点としての施設の有効利用や、子ども会議、懇談会、運営協議会、こども文化センター利用者会議、また、小学校、中学校、保育園、支援センターとの連携により、ニーズに合わせた事業実施をしました。	運営協議会等との連携により地域のニーズに合った行事を実施したことは評価できる。今後、ボランティアの活用に努めること。
個人情報取扱に関する こと	わくわくプラザ申込書、名簿、子育て支援・わくわくプラザ申込書、行事申込書、スポーツ保険申込書、入館表、パソコン利用申込書、こども文化センター使用許可申請書、物品借用申請書、職員緊急連絡表等厳重に保管しました。館のホームページについても厳重にチェックしました。また、安全管理措置の他にも法令等の遵守、利用目的の特定、個人情報の適正な取得、第三者提供の制限、開示、訂正等適正に執り行いました。	個人情報の取扱については、概ね問題なく処理されている。
施設の安全管理に関する こと	こども文化センターの利用者の安全確保、防犯対策、災害時の対応、また、各わくわくプラザで利用者の安全確保、防犯対策、災害時の対応等、毎日安全確認を執り行い、避難訓練の実施のほか、職員会議、スタッフ会議で確認を取り、危険箇所のないよう、職員全員に徹底周知し、常に館内の見回りをし、利用者の安全確保を徹底しました。	毎日の清掃や始業時の点検を行い、安全性に努めている。また、下作延小学校・高津小学校わくわくプラザにセンサーライトを設置し、より安全性を高めていたことは評価できる。
(2) 利用状況		
①こども文化センター	延べ利用者数 32,962人 延べ団体利用数 6,715団体 (主な行事等) スポチャン大会 こ文まつり (特色のある行事) キャッシー先生の英会話	地域の状況に合わせた特色ある行事の実施している。また、地域との連携を図り行事を実施していることは評価できる。行事の実施に当たっては、具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。
②わくわくプラザ	1 高津小学校わくわくプラザ 登録者数 449人 延べ利用者数 30,493人 (主な行事等) 水遊び 秋祭り (特色のある行事) 風鈴作り 2 下作延小学校わくわくプラザ 登録者数 237人 延べ利用者数 15,428人 (主な行事等) ふれあい囲碁遊び 年末お楽しみ会 (特色のある行事) ベーゴマ教室	行事については、順調に実施されている。利用状況は具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導																														
(3) 収支状況																																
① 収支状況	<p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table> <tr> <td>収入</td> <td>指定管理料</td> <td>54,815,198</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>人件費</td> <td>46,946,141</td> </tr> <tr> <td></td> <td>管理費</td> <td>2,892,012</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事務経費</td> <td>1,937,847</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他経費</td> <td>1,436,042</td> </tr> <tr> <td></td> <td>青少年事業資産取得支出</td> <td>909,090</td> </tr> <tr> <td></td> <td>減価償却引当資産取得支出</td> <td>40,492</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第1回精算に伴う返納金</td> <td>636,363</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>54,797,987</td> </tr> <tr> <td></td> <td>差引</td> <td>17,211</td> </tr> </table>	収入	指定管理料	54,815,198	支出	人件費	46,946,141		管理費	2,892,012		事務経費	1,937,847		その他経費	1,436,042		青少年事業資産取得支出	909,090		減価償却引当資産取得支出	40,492		第1回精算に伴う返納金	636,363		合計	54,797,987		差引	17,211	事業実施後指定管理料の残額を戻入しており指定管理料の範囲内で事業の実施を行っている。今後は収支のバランスを考慮しつつ、事業をより充実させるため適切な経費の執行を図ること。
収入	指定管理料	54,815,198																														
支出	人件費	46,946,141																														
	管理費	2,892,012																														
	事務経費	1,937,847																														
	その他経費	1,436,042																														
	青少年事業資産取得支出	909,090																														
	減価償却引当資産取得支出	40,492																														
	第1回精算に伴う返納金	636,363																														
	合計	54,797,987																														
	差引	17,211																														

3 管理運営（事業執行）に対する全体的な評価

指定管理以前から委託事業者としてこども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、また、全市58施設の内55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、施設ごとに偏りの無いサービスの提供を行っており、区ごとのこども文化センター合同行事の実施や全市規模の行事の実施を行っていた。行事の実施についても施設ごとに特色ある行事を実施していることは評価できる。また、各施設を統括する本部職員を配置することにより、他のこども文化センターと連携を図り管理運営を行っていたことは評価できる。

55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、安定した経営を行っていたことは評価できる。

4 来年度の管理運営（事業執行）に対する指導事項等

次年度も引き続き55施設の指定管理者として安定した経営、他施設と連携した行事等スケールメリットを生かした管理運営を実施すること。事業の実施に当たっては運営協議会を始め地域と連携し、より一層地域の状況に合わせた特色ある行事の実施等を行うこと、また目標利用者数を設定する等具体的な数値目標を設定し客観的に事業の達成状況が分かるようにすること。